

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

| 旬別<br>月間     | 上旬   |      | 中旬   |      | 下旬   |      | 月間    |       | 特記・コメント         |
|--------------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-----------------|
|              | 本年   | 平年   | 本年   | 平年   | 本年   | 平年   | 本年    | 平年    |                 |
| 11 月 平均気温（℃） | 7.6  | 9.0  | 7.5  | 7.1  | 9.3  | 5.4  | 8.1   | 7.1   | 月間平年比+1.0℃（やや高） |
| 11 月 降水量（mm） | 7.0  | 13.6 | 25.0 | 20.8 | 48.0 | 18.6 | 80.0  | 52.9  | 月間平年比 151％（多）   |
| 11 月 日照量（h）  | 65.4 | 52.3 | 46.6 | 47.4 | 35.8 | 46.5 | 147.8 | 146.2 | 月間平年比 101％（並）   |

2022 11 月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 22.3℃（11/29） 最低気温－1.3℃（11/28） 氷点下観測 11 日（11/5,6,7,8,9,10,11,17,18,27,28）
- ◆ 降水量：上旬平年比 52％（少） 中旬平年比 120％（やや多） 下旬平年比 258％（極多）
- ◆ 日照量：上旬平年比 125％（多） 中旬平年比 98％（並） 下旬平年比 77％（やや少）

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- ① 出荷量（昨対）：プラム 125％、もも 130％、和梨(南水)262％、サクランボ 96％  
秋映中心に胴サビ多い傾向。園地により、スイート、ゴールド、ふじにも散見。
- ② 果実肥大（縦径）：ふじ 前年比 113％、平年比 94％ ふじは、ツル割れが少ない傾向。  
玉流れ 3 6 > 3 2 > 4 0 > 2 8
- ③ 生産基盤（推定）：ぶどう 346ha（昨対+3）・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 12ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha
- ④ 雪害：長丘地区山手、柳沢、田上、岩井地区のりんご・もも等で枝折れ散見。ぶどう棚倒壊・損傷等約 50 件あり。
- ⑤ 獣害：日野、長丘、科野、倭地区中心に、猪・鹿による果樹園地への被害が多発。（猪：園内、土手を荒らされる。鹿：りんご等の主幹表皮・芽を食害）
- ⑥ 凍害：冬季の低温により、モモなどで樹体枯死、枝単位の枯れ込みが散見される。また、落花後の樹勢衰弱も散見された。
- ⑦ 収穫開始：りんご：秋映 9/27、スイート 10/7、ゴールド 10/15、百年ふじ 11/1～、サンふじ 11/10～  
着色・成熟が遅れており、昨年よりも 3～7 日程度遅れて収穫が始まる見込み。
- ⑧ 露地シャイン：約 5 年ぶりに裂果多発。着果過多房内の小粒や弱樹勢・ジベ 2 回目遅れ・粘土質土壤園に発生目立った。
- ⑨ 巨峰：着色不良・・・小房により大幅に減収。糖度上昇鈍かった。晩腐病は平年より少。
- ⑩ ルージュ：裂果多発。着色は昨年より悪かった。10 月以降、果頂部にしわや晩腐病発生等でロスあり。自然増あり。
- ⑪ ハウスぶどう：6/24 の高温により、主に水まわり前の房に日焼け発生し、園地により減収あり。着色上昇早い、糖度上昇が鈍い状況であった。
- ⑫ 防除ポイント
  - ◆ 黒とう病：房被害は昨年より大幅に少ない～ない。8 月に副梢葉に感染確認。
  - ◆ 晩腐病：被害は平年より大幅少なく経過。
  - ◆ 黒星病：6 月中旬、一部園地で葉・果実病斑が散見された。8 月下旬頃から、一部園地で秋季の葉病斑が散見される。
  - ◆ 褐斑病：8 月下旬から、りんご園にて葉病斑が散見される。（基っ葉中心）
  - ◆ せん孔病：5 月上旬頃～春型枝病斑を確認。6 月上旬頃～葉病斑を確認。晩生種以降、果実病斑が確認されているが、少発生。
  - ◆ スモモヒメシンクイ：6/29 第一世代増加。7/下旬～8/初旬 第二世代増加。りんご、プラムで園地により被害発生。
  - ◆ カメムシ類：5 月中旬頃から、カメムシによる果実・葉への被害が散見される。
  - ◆ ケムシ類（マイマイガ）：5 月中旬頃から、山際の園地中心にマイマイガの発生が散見される。
  - ◆ ハダニ類：6 月下旬から連日高温が続き、ハダニ類が散見されている。8 月上旬、県ハダニ注意報発令。
  - ◆ コガネムシ類：6 月下旬から山間部を中心に被害確認。
  - ◆ キンモンホソガ：8 月中旬頃からりんご園でキンモンホソガの発生が散見された。